

# 和歌山だよい

平成24年 2月号



梅の花 (みなべ町)

## CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P8
3. お知らせ…………… P9～P11
4. ふるさと歳時記……………P12



国体イメージ  
ソング募集中  
です！！

## 「課題先進県和歌山」

東京大学前総長で三菱総研の理事長の小宮山宏さんの著作に「課題先進国日本」という本があります。高齢化とか、デフレとか、低成長とか、エネルギー環境問題とか、日本が抱えている問題は遅かれ早かれ世界が直面する問題だから、日本が叡智をしばってこれを解決して、世界の範となろうというのがメインテーマでした。

大変示唆に富む説ですが、私は、その「課題先進国日本」の中でも当県は特に上に挙げたような課題に直面する所がよその県よりも早く、かつ深刻な県であると思います。ということは、和歌山こそ「課題先進県」だということです。和歌山は昭和40年代ころまでは、産業の活力もあり、文化や市民生活の力も、他よりもかなりいい位置にいたことが実証されています。しかし、その後の日本の変化をまっ先にかつ深刻に受けて産業の停滞が起こり、一次産品などの国際競争の影響を受け、雇用が失われ、若者がどんどん出て行くばかりで、高齢化が進み、まちの空洞化がどんどん進み……等々多くの問題を抱えてしまいました。

しかし、このような問題は早晩日本全体が抱えることになる問題です。しかれば、危機に強い（あの水害からの復旧で立証されたではありませんか）、創意工夫に富む（松下幸之助さんなどいっぱい偉人を生んでいます）県民性を生かして、これらの課題を解決する途を日本全体に先駆けて見出していかうではありませんか。

我が県で時々好調な時に起こりがちな油断をすることなく、県民が力を合わせて努力をすれば、それは十分可能だと思います。そのために我々は毎年最善と思われる新政策を考え出して、県民の皆様とともに進もうと考えています。大丈夫です。ここ3年間和歌山県の有効求人倍率は、それまでの近畿のビリを脱してずっとトップなのですから。



わかやま産品商談会で  
挨拶する仁坂知事

## 今月の和歌山県政トピックス

\* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

### ● サッカー女子日本代表候補が和歌山で合宿！！

・ 2月9日～13日、サッカー女子日本代表候補の強化合宿が、上富田町の上富田スポーツセンターにおいて、行われました。

・ 今回の合宿は、昨年の台風12号で被害を受けた和歌山を元気づけたいという日本サッカー協会からの申し出により実現したもので、7月に開催されるロンドンオリンピックに向けて、昨年ワールドカップで優勝した「なでしこジャパン」をはじめ、「なでしこチャレンジ」「U-20」「U-17」のメンバー総勢76名が参加しました。

・ 歓迎セレモニーで仁坂知事は「和歌山を合宿地に選んでくれて感謝します。台風12号で被害を受けた方々も皆さんの頑張る姿を見れば元気になれる。」と挨拶し、地元の特産品「熊野牛」「紀州梅」「紀州ポンカン」などを贈りました。

・ また、地元の子ども達を対象としたサッカー教室も開催され、約200人が参加しました。佐々木監督をはじめ、コーチ達の指導を受けた参加者は、寒さをもろともせず、ボールを追いかけ、グラウンドを走り回りました。

・ 2月11日～12日には台風12号で、被害を受けた田辺市、新宮市、日高川町、那智勝浦町、古座川町の5市町の小中学生約2,200人が招待されました。グラウンドでは紅白戦が繰り広げられ、巧みなドリブルや強烈なシュートにスタンドから歓声があがりました。

・ 合宿終了後、日本サッカー協会の上田栄治女子委員長をはじめ関係者が熊野三山を訪れ、必勝を祈願しました。

・ オリンピックでのなでしこジャパンの大活躍をお祈りします。



● 森上亜希子さん（元プロテニスプレイヤー）が仁坂知事を表敬訪問

- ・2月20日、一昨年 NHK の「街道てくてく旅」で熊野古道を踏破した元プロテニスプレイヤーの森上亜希子さんが仁坂知事を表敬訪問しました。
- ・森上さんは、昨年の台風12号で、熊野古道が大きな被害を受けたことにショックを受け、「森上亜希子熊野古道復興プロジェクト～よみがえれ！熊野古道～」を立ち上げ、熊野古道の復旧活動をされています。
- ・今回の訪問では、森上さんが仁坂知事仁プロジェクトについて紹介し、これまでに集められた「ふるさと応援寄附金」を贈呈しました。
- ・仁坂知事は「一生懸命やっただいてありがとうございます。熊野古道復興のために大切に使います」とお礼を述べました。



プロジェクトの詳細については下記のホームページをご覧ください。

<http://www.mikihouse.co.jp/kumanokodo/>

● 企業立地件数が99件になりました！！

- ・この度、「株式会社インテリックス」と「中部抵抗器株式会社」の企業進出により、平成19年以来の企業立地件数が99件となりました。

○株式会社インテリックスが本社工場を増設

・株式会社インテリックスは「ジャストカーテン」ブランドでオーダーカーテンを均一価格で販売するほか、有力カーテンメーカーの指定工場として、受注生産も行っています。平成22年には近畿経済産業局の「2010年KANSAIモノづくり元気企業」に選定されており、今回、取引先からの増産要請に応えるため、和歌山市の本社工場を増設することになりました。

○中部抵抗器株式会社が「北勢田第2工業団地」へ進出

・中部抵抗器株式会社は空調機に使用する熱交換機器やエレベーターのボックス関連製品などを製造しています。創業以来、三菱電機株式会社と緊密な関係を保ち、製品の共同開発などを行っており、同社のパッケージエアコンにはほぼ100%さいようされるなど高度な技術を有する企業です。今回、熱交換器製造拠点の分散化と取引先の近くで生産することによるコスト削減を図るため、紀の川市の北勢田第2工業団地へ新工場を建設することとなりました。

- ・北勢田第2工業団地へは最初の進出企業決定となります。

### ●和歌山県スポーツ賞表彰式が開催されました！！

- ・ 2月21日、和歌山県スポーツ賞の表彰式が開催されました。
- ・ スポーツ賞はスポーツ水準の向上や振興に貢献したり、功績を残した選手や団体に与えられるもので、今回で50回目となります。
- ・ スポーツ功労賞、スポーツ優秀指導者賞、スポーツ顕賞、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の5つの賞に個人107名と18団体が選ばれました。
- ・ 仁坂知事は、「皆さんは素晴らしい実績を残されてきた方々ばかり。紀の国わかやま国体の開催も3年後に迫っており、皆さんの力で和歌山のスポーツ界を牽引して、大いに活躍していただきたい」と受賞者の功績を讃えました。
- ・ 受賞者を代表してスポーツ功労賞の中公之さんが、「このような素晴らしい賞をいただき感謝します。これからも紀の国わかやま国体に向けて、スポーツ振興に最大限の努力をしていきたい」と謝辞を述べました。

#### 主な受賞者

##### 【スポーツ功労賞】

スポーツの振興に著しい功績を挙げた方  
中 公之（陸上）

昭和46年の黒潮国体で陸上競技監督を努めるなど  
本県陸上競技の普及発展に多大な貢献

##### 【スポーツ優秀指導者賞】

優秀なスポーツ選手の育成に尽力した方  
川村 栄司（陸上）  
辻 慶一（ソフトテニス）

##### 【スポーツ顕賞】

国際的な大会で優秀な成績を挙げた方々

田中 和仁（体操）  
田中 理恵（体操）  
田中 佑典（体操）  
湯元 健一（レスリング）  
湯元 進一（レスリング）  
嶋本 麻美（ウエイトリフティング）  
阪本 直也（カヌー）  
西山 史扇（カヌー）  
中澤 晶（カヌー）  
山本 千代（なぎなた）  
榎 清史（なぎなた）  
榎本 智史（なぎなた）  
中村 智太郎（水泳）  
市野 直毅（セーリング）  
谷口 齊謙（セーリング）  
萩原 麻由子（自転車）

この他、スポーツ賞に50名、12団体、スポーツ奨励賞に38名、6団体の方々が選ばれました。



●「第6回わかやま産品商談会 in 大阪」開催！

・2月9日、「第6回わかやま産品商談会 in 大阪」を「大阪マーチャンドイズ・マート」で開催しました。

・仁坂知事は「和歌山にはおいしいものがいっぱいある。中でも果樹はいろんな種類があり、そのうえ残留農薬をダブルチェックしており、世界一安全です。ぜひ、がんばって売って欲しい。」と挨拶、県産品を大いに売り込みました。

・新規23事業者を含む75事業者が出展し、百貨店・スーパーの商品仕入担当者や外食産業の関係者に自慢の商品をアピールしました。

・今回も県立和歌山商業高校と県立笠田高校の商業を学ぶ学生約40名が参加。実践教育の場として、県産品をPRして商談にも加わりました。

・また、和歌山県の多様な食材を使った夕食のレシピなどを紹介するコーナーも設けられ、参加者においしさをよりわかりやすくPRしました。

・当日は、寒さが厳しかったにもかかわらず、過去最高の来場者が訪れ、熱心に商談が行われました。



●「スーパーマーケットトレードショー2012」に出展！

・2月1日～3日、東京ビッグサイトで開催された「スーパーマーケットトレードショー2012」に和歌山県のブースを出展しました。

・「スーパーマーケットトレードショー」は食品スーパーマーケットを中心とする流通業界に最新情報を発信するプロ向けの展示会で、今回も1,295社・団体が出展、小売りに特化した日本最大級の展示会として人気を集めています。

・和歌山県の出展は今年で4回目となりますが、今回はブースの規模を拡大し、出展企業も去年の5社から大幅に増えて12社での出展となりました。出展者は梅干しをはじめとした和歌山県自慢の品々を小売りのプロに向けて、熱心に売り込みました。



《出展企業》 順不同

- ・(株)きたかわ商店
- ・(株)世界一統・田端酒造(株)
- ・伊藤農園(株)
- ・(株)岩本食品
- ・いなみの里梅(株)
- ・みなべいなみ農業協同組合
- ・河本食品(株)
- ・(有)丸惣
- ・一般社団法人熊野はひと
- ・紀州田辺うめ振興協議会
- ・(株)ウメカ食品

### ●平成24年度振興局政策コンペ事業（8事業）を選定！！

・「振興局政策コンペ事業」は、県の出先機関である7つの振興局の若手職員が、地域住民と話し合い、地域の課題に対する解決施策や地域の資源を使った活性化施策を企画立案した事業です。（◆は、具体的な事業です）

#### ① 軽トラ市で賑わうまちづくり～えーわっしょ海南 みんなおいなーよ～（海草振興局）

・海南駅前広場を利用し、軽トラ市を核とした農水産物をPRするイベントを開催。地域の特産物の消費拡大を図ります。

- ◆軽トラ市を開催し、農水産物を販売
- ◆海南オリジナルおにぎり・お米バーガーの創作



#### ② 観光サイクリングでまちおこし（那賀振興局）

・サイクリングによる観光客の受け入れ体制を整備し、サイクリングを核とした広域的な観光振興を図ります。

- ◆サイクリングツアーの誘致やサイクリングガイドの養成
- ◆JR粉河駅を拠点としたレンタサイクルシステムの構築



#### ③ ワカモン山村プロデュース事業（那賀振興局）

・紀の川市の細野地域で、和歌山大学の学生の視点を取り入れながら一年を通して人を呼び込むための仕掛けづくりを行い、交流人口の増加と「細野ファン」づくりを目指します。

- ◆季節に応じた細野らしい体験イベントの実施
- ◆若者や家族をターゲットとした情報発信
- ◆利用回数に応じた割引等による細野ファン（リピーター）づくり



#### ④ 和歌山発！！観光医療都市はしもと

##### ～目指せ 元気再生・地域活性～（伊都振興局）

・「産官医」連携による地方自治体と公的機関の取り組みとして、「健闘診断と」と「観光」を組み合わせた「観光医療産業」を創出するとともに、公的医療機関の増収と観光客の誘客を図ります。

- ◆1泊2日の健康診断+体験型観光ツアーの企画及びモニターツアーの催行
- ◆健康食事メニューの企画・開発



**⑤守ろう!ため池! (伊都振興局)**

・農業用ため池において、コクチバス等の特定外来種を駆除することにより、郷土に誇れる自然環境を形成します。

- ◆コクチバス等外来魚の繁殖・生育調査
- ◆池にごしによる外来魚の駆除（住民・児童向け環境学習会の実施）
- ◆外来魚の放流禁止等の啓発看板の設置



**⑥稲むらの火の功績に学ぶ「平成の寺子屋」～梧陵ゆかりの地から発信する防災意識向上への取り組み～ (日高振興局)**

・地域住民が、頭で気付き、体で覚える実践的な防災への取組を行うことで、有事にも冷静な判断のできる真の防災意識の醸成を図ります。

- ◆<頭>で気付く…防災基礎講座や津波ルート巡り歩こう会など
- ◆<身体>で覚える…HUG(避難所運営ゲーム)や避難食味見会など
- ◆<参加インセンティブ>…参加ポイント制による防災グッズや認定証の進呈



**⑦女子会 in 枯木灘～釣りガールのすさみへの誘客～ (西牟婁振興局)**

・「釣りガール」をターゲットにした誘客の取組により、フィッシングエリアすさみの認知度向上と観光客の増加を図ります。

- ◆温泉・グルメと組み合わせた釣り初心者の女性向けモニターツアーの実施
- ◆全国初の女性限定のエギ（餌木）によるイカ釣り大会の開催
- ◆ファッションコンテストや料理レシピコンテストなど女性ならではの催しを実施



**⑧ようこそ「さん・けん・きょう」!熊野の国へ (東牟婁振興局)**

全国的にも希な三県境（和歌山県・奈良県・三重県）が集中する当地域にスポットをあて、知名度アップを図り、ともに、管内各地の話題づくりを行います。

- ◆「さん・けん・きょう」スタンプラリーの実施
- ◆三県境地域パンフレット作成





### ●東海和歌山県人会総会懇親会開催！！

・2月9日、「平成24年東海和歌山県人会総会・懇親会」が、名古屋国際ホテルにおいて盛大に開催されました。

・山口会長による開会のあいさつの後、仁坂知事は「名古屋・東海地域の発展には県人会の皆様のご活躍によるものが大きい」と述べるとともに「和歌山も災害から立ち直ったというキャンペーンをしているので、皆様もご支援いただきたいと」挨拶しました。

・懇親会では、鮪の一頭造りや由良町の「生わかめのしゃぶしゃぶ」、田辺市の梅酒の試飲コーナーなどが設けられ、新宮市出身で名古屋を拠点に活動する丸石輝正さんの歌や和歌山物産の大抽選会などで、大いに盛り上がりました。



### ●近畿連合和歌山県人会「新年互礼会」開催！！

・1月29日、「平成24年近畿連合和歌山県人会新年互礼会」が、大阪市のホテル日航大阪で、京都・大阪・堺・神戸の県人会会員約80名が出席し、盛大に開催されました。

・近畿連合和歌山県人会代表幹事である大阪和歌山県人会佐竹会長による歓迎のあいさつの後、下副知事が「県人会の皆様が和歌山はいいところだと自信をもって自慢できるように、新たな政策を着実に実施してまいりますので、皆様方のさらなる応援をお願いします」と仁坂知事のメッセージを披露しました。

・続いて行われた懇親会では、落語家の桂勢朝さんが南京玉すだれの芸などで会場を笑わせるなど、楽しいひとときを過ごしました。

・また、会場内には、田辺市による梅酒の試飲コーナーや有田市による「太刀魚天ぷら」と有田ミカンの試食コーナーを設けられ、大好評でした。





# 2015 紀の国わかやま国体 イメージソング募集!!

作詞

第70回国民体育大会和歌山県準備委員会では、2015（平成27）年に和歌山県で開催される紀の国わかやま国体（第70回国民体育大会）の開催気運を盛り上げるイメージソングを募集します。

- 募集内容** ・スポーツ競技会にふさわしい、軽快でさわやかな曲調で、紀の国わかやま国体の大会スローガン「躍動と歓喜、そして絆」をイメージできる作品  
 ・和歌山の元気や魅力などを全国にアピールできる作品  
 ※曲の長さは5分程度以内、歌詞は3番以内とし、曲のみ又は歌詞のみの応募は不可
- 募集期間** 平成24年2月7日（火）～平成24年4月20日（金）当日消印有効
- 応募資格** 和歌山県在住の方若しくは和歌山県にゆかりのある方（和歌山県内に居住・就学・勤務経験のある方、両親が和歌山県出身である方など）  
 ※プロ、アマチュアを問わず、また、グループでの応募も可
- 賞 金** 採用作品（1点）50万円
- 審 査** 主催者及び主催者が設置する「イメージソング選定委員会」において審査
- 発 表** 平成24年秋頃に開催予定の国体開催決定記念イベントにおいて発表予定

## イメージソング選定委員会（敬称略）（プロフィールは別紙）



※ 応募方法などその他詳細については、別添の「紀の国わかやま国体イメージソング募集要領」（紀の国わかやま国体ホームページに掲載）をご覧ください。ホームページは、

和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

# 愛されいちご「まりひめ」

和歌山県のオリジナルいちご「まりひめ」は、早生で豊産性の「章姫（あきひめ）」を母親、コクのある食味で日持ちの良い「さちのか」を父親として生まれた新品種です。

今回、まりひめの“生みの親”である県果樹園芸課の西森班長に誕生秘話を聞きました。



他府県のいちご産地ではそれぞれのいちごの品種を持っていますが、今まで和歌山県にはありませんでした。そこで、「和歌山県オリジナルのいちごの品種を開発しよう」と長い長い研究が始まったのです。どの品種の父親と母親を交配させるか、いろんな組み合わせを実験。同じ組み合わせでも父親(雄しべ)と母親(雌しべ)を逆にするだけで全く違うものになるんですよ。3000種類の苗から厳しい選抜を勝ち抜いた「まりひめ」が、平成20年3月に種苗登録出願されました。名前は伝統工芸品“紀州てまり”にちなみ、可愛らしくみなさんに愛されるよう名付けられました。

「苗がたくさんできるんだけど、味をチェックするために来る日も来る日もいちごを全て食べるのがもう大変で…」と裏話も聞かせてくれました。いちご好きの記者にはちょっぴりうらやましかったけれど、研究には日々の努力が欠かせないんだなと感じました。

現在、「まりひめ」の栽培面積は約 6.3ha(県調べ)。「今後もっと面積が増えて、和歌山の“顔”となってほしい」と、西森班長は「まりひめ」の父親らしい眼差しで語ってくれました。

## まりひめ農家さんを訪ねて

「まりひめに惚れ込んでしまっただけ」と話してくれたのは、18歳からいちご作りを始めたベテランの信定さん(和歌山県いちご生産組合連合会副会長)。栽培3年目の今年は17a全て「まりひめ」に変えました。大粒、味が良い、形が良く揃っている、光沢がある、鮮やかな色などに魅せられたそうです。しかし、そんな「まりひめ」にも欠点があります。それは夏～秋に苗が枯れてしまう炭そ病に弱いこと。それでも「農家が諦めずに作り続けていくこと、病気にかからないよう技術を身につけることが大切だ」と熱く語っていただきました。



とても大きく、甘くてジューシー！おいしさには信定さんの努力が隠されていました。大きな実ができるよう摘<sup>てきらい</sup>蓄(蓄を間引くこと)をしたり、毎年、研修会に参加して学んだことを実践したり。今年はずっとおいしい「まりひめ」をつくるため、光合成を活性化させる炭酸ガス(CO2)の濃度を調整しているそうです。



愛情いっぱい育てました

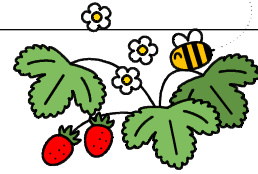
「日々、精進。」「これからもっとまりひめのPRを頑張りたい！」目標や信念を胸に「まりひめ」栽培に取り組む信定さん。いちごに対する強い思いがひしひしと心に伝わった1日でした。

## いちご電車で「まりひめ」キャンペーン

平成 24 年 2 月 19 日(日)、和歌山電鐵貴志駅及びいちご電車内で、信定さんをはじめとした生産者自らが「まりひめ」のプレゼントやクイズ等のキャンペーンを行いました！

(主催：和歌山県いちご生産組合連合会 共催：和歌山県、JA 紀の里、協力：和歌山電鐵株式会社)

- (1) いちご電車で「まりひめ」プレゼント
  - ・乗客に「まりひめ」を一人一個配布
- (2) いちご電車で「まりひめ」クイズ
  - ・乗客に「まりひめ」クイズを配布
  - ・正解者には抽選で「まりひめ」をプレゼント (合計 40 名)
- (3) 貴志駅での「まりひめ」即売
  - ・生産者による「まりひめ」の即売



## 2012わかやまポンチ春フェスタ開催中！

「まりひめ」をはじめとした和歌山県産いちごを使った「2012 わかやまポンチ春フェスタ」が開催中！期間は平成 24 年 2 月 10 日～2 月 29 日まで。

この春、いちごバージョンのわかやまポンチ巡りをしてみてはいかがでしょうか？

(<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/ponchi/wakapon.html>)

### ☆参加店舗☆ (16業者20店舗)

- ①三八波 ②South West Cafe ③パスワード ④休暇村 紀州加太
- ⑤ロイヤルパインズホテル ⑥フレグランス ⑦やさい食堂 ⑧旬海
- ⑨銀平本店 ⑩喫茶シンプル (以上、和歌山市)
- ⑪ニイハオ (和歌山市、岩出市) ⑫弥一(和歌山市、岩出市、紀の川市)
- ⑬カフェしおん(紀の川市) ⑭ケーキの幸屋 (田辺市)



新しい「わかやまポンチ食べ歩きマップ」が完成しました！参加店舗及び観光案内所(JR 和歌山駅前、和歌山城内)に設置しておりますので、どうぞご活用ください。

### ～「真田」で町おこし九度山町～

九度山町では、関ヶ原合戦の後、真田昌幸・幸村父子が隠せいで史実に着目し、「真田」をキーワードにした町おこしに取り組んでいます。

#### 真田庵

・戦国の武将真田昌幸・幸村父子は天下分け目の関ヶ原の戦いで西軍に味方して敗れ、高野山に蟄居を命じられます。しかし、高野山の生活が寒くて大変だったため、庵を麓の九度山に移したと言われています。この屋敷跡に建てられたのが「真田庵」、正式には「善名称院」という寺院です。境内には真田家関係の資料等を展示した資料館もあり、また春には九度山町の花ボタンが咲き乱れます。



#### そば処幸村庵

・「真田」をキーワードにした町おこしの一環で、真田家ゆかりの信州そばを町の新たな名物にしようと、九度山町や町の外郭団体が中心となって、「真田庵」の隣の民家を改装して平成22年にオープンしました。本場信州で修業を積んだ職人が打つそばが評判を呼び、連日多くのお客さんが訪れています。



#### 真田いこい茶屋

・平成21年にオープンした地元の古民家を改修した休憩所。店内には真田関係のグッズや地元の農産物などがお土産として並び、また軽食をとることもできます。運営は、地元の女性グループがボランティアで行っており、観光に訪れた人々を温かくもてなしてくれます。

#### 真田幸村スタンプラリー

・1月21日から、南海電鉄九度山駅と九度山町内の観光スポット、飲食店・土産物店計11か所に置かれているスタンプを集めると先着でオリジナルグッズがもらえるスタンプラリーを開催中。真田幸村と真田十勇士にちなんだスタンプが好評を呼び、既に第1弾で用意したグッズはなくなり、3月1日から第2弾のグッズが先着順でプレゼントされます。

詳しくは九度山町のホームページをご覧ください。

<http://www.town.kudoyama.wakayama.jp/>



## ～編集後記～

今年の冬は例年になく寒い日が続きましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

受験シーズンがいよいよ大詰めに入りました。心の中で「春よ来い」と祈りながら懸命に受験に臨む若者たちの姿は、この季節の風物詩とも言えます。

春は、卒業、入学、就職等人生の中で、「旅立ち」や「出会い」の大きな節目となる季節ですが、数年先には、その状況が大きく変わるかもしれません。

先日、東京大学が「秋入学」に向けて本格的な検討を始めたとの報道がありました。世界の大学のおよそ7割が採用している、いわば国際標準となっている「秋入学」に移行することで、世界から優秀な人材を確保し、国際競争に勝ち抜くことが狙いとも言われています。

様々な分野でグローバル化が進む中、「世界」を意識しながら、時代の流れを見据えて行くことが求められています。本県においても、世界のマーケットを見据えた産業振興施策を進めていますが、今後もこの流れを加速していく必要があります。

私たち県職員は、和歌山の良さ、和歌山の素晴らしさを決して見失うことなく、これまで以上に「世界」を意識して仕事を進めていかなければならないと思います。

ともあれ、春の足音は確実に近づいています。受験生の皆さんはもちろん、春を待つすべての皆さんに、希望の春が訪れることをお祈りいたします。

知事室秘書課長 藤川 崇

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等をお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

\*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2012年(平成24年)2月 NO.47

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022